



# Information\_10



＼食事から防ごう！／

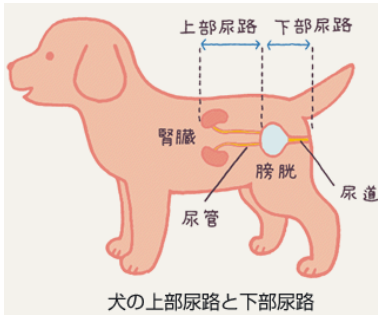
## 下部尿路疾患 F.L.U.T.D(猫)/C.L.U.T.D(犬)

寒くなって増えてくる病気のひとつが、「下部尿路疾患」。  
専用の食事を与える事により、その発症または再発のリスクを下げる  
ことができます。



### 下部尿路疾患とは？

下部尿路(=膀胱～尿道出口)で起こる様々な病気の総称です。



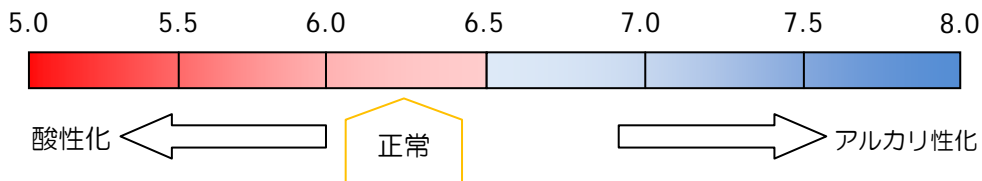
主なものとして、膀胱炎や尿石症、尿道閉塞など  
があります。

症状として排尿痛、血尿、頻尿、無尿、食欲や  
元気の低下などがみられます。



### 尿のpHと尿石の関係

尿検査では、尿のpH値を調べて酸性とアルカリ性の度合いを調べます。  
健康な尿は弱酸性(pH6～6.5)ですが、酸性やアルカリ性に傾きすぎると、  
尿の中のミネラル分が結晶化して尿石ができる原因となります。



### 尿石の種類

様々ありますが、「ストルバイト」と「シュウ酸カルシウム」が約 80%  
を占めています。

ストルバイトはアルカリ尿で、シュウ酸カルシウムは酸性尿でできやすく、  
尿石症は治療後も再発することがよくある疾患です。



### 食事で防ぐポイント！

#### 結晶化を阻止！

弱酸性だと結晶化  
しにくく、また結  
晶を溶かす事もで  
きる

- ①ミネラル量が制限された食事
- ②尿pH値を弱酸性にする食事
- ③たんぱく質を過剰摂取しない
- ④水分摂取量を増やす

尿中のミネラル量は、  
食事から摂取するミネ  
ラル量に比例する

ウェットフードに変  
える、ドライフード  
に水を混ぜるなど

動物性たんぱく質は  
尿中のカルシウムや  
シュウ酸を増やし、  
結石ができやすくな  
る

スタッフより



特に、去勢手術をしたコや肥満気味のコ、尿路疾患になりやすいとされ  
ている種類のコは普段から予防食を与えてあげると良いですよ。

また日頃からおしっこの回数や色、ニオイを観察しましょう。気になる  
方は、一度尿検査してみることをおすすめします。